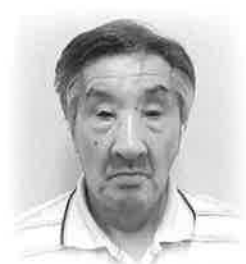


はばたき

2021. No. 94



新しい
仲間たち
踏み出す
一歩

ごあいさつ 千日 清

新任職員も業務を開始し3カ月を終え、新しい年度の始めにあたり「さあ頑張っていこう」という掛け声とは裏腹に、

今もなお先の見えにくい、重苦しい気持ちが続いていることも事実であります。昨年から窮屈さと、緊張を持続しながらの活動に、「いい加減にしてよ」とついつい愚痴することもしばしば。クラストーという恐怖も経験し、再び起こることのないようこれまで懸命に支援にあたってきた全職員に心から敬意を表すものであります。法人の各事業は、このようなかでも、安定した継

続運営がなされていることにも重ねて感謝するところであります。

先日、事業報告と決算が承認されました。今年度も利用者の皆様への支援をより充実することができるよう、一丸となつて進めてまいります。

当法人にとつて、とても大きなことがございました。役員のご改選時期に伴い、中原理事長、石野会長、両宮理事の三名の役員の退任がございました。石野会長は昭和五八年から理事長職も含めて三十八年間、両宮理事は二十九年間、永きにわたり法人の発

展に大きく寄与され、温かい眼差しをもって多大なるご尽力をいただきました。今日の法人の礎をおつくり戴いた功績は言葉に表すことのできないものであります。が、ご高齢であることから、この度のご退任となつたものでございます。

中原理事長はご存じの通り、これまで皆様から本にお世話になった私の大切な上司であり、師であり、時には友として、到底語りつくすことのできない恩人でございます。数年前から体調を崩し、現在も療養中であることから、理事長の退任となつたものでございます。お三方がおられなければ、今日の法人は存在しておりません。大きな損失として、

大きな出来事として受け止めているものです。これからも多くのご助言と励ましを戴けることは承知しておりますが、心の支えを失うことがこれほど大きなものだといふ改めて実感しているところであります。私達職員は、創設者の福祉への情熱とその意志を引き継ぎながら、お三方の思い、とりわけ道半ばで現場から離れる無念の極みである中原理事長の思いを胸に、これから

の新しい時代に全力で取り組んでまいります。どうぞこれからも皆様からの温かいご支援を戴くことができます。活動開始の朝の一コマ、園庭で身体をほぐし動かし歩行する利用者の

傍らで、背中をそつと支え、何か話しかけながら一緒に歩く職員。

作業所に向かう利用者の身体のふらつきを気遣う職員。

かなりの速さで走る利用者を見つめて追いかける職員。

自然な仕草に少し見とれながら、皆い職員になつていると実感。

理事会において、後任としての理事長を務めることとなりました。

これまで同様ご指導を賜りますようお願いを申し上げます。年度開始のご挨拶といたします。



人に寄り添い20年目を迎えて



みどり園
大内 隆太

今回永年勤続表彰に授かり、誠に光栄に感じています。時が過ぎるのは早いもので、私が福祉のお仕事を始めて29年の歳月が経っていました。仕事を始めた21歳の時には身体も細く、施設対抗バレーボール大会で活躍したのを思い出します。大久保学園とは敵同士。決勝戦で試合したことをよく覚えていいます。大久保学園の皆様には嫌われていたのではないでしょうか。(笑)今は50歳。髪は白く細くなり、腹は反比例して太くなりました。しかし、今でも変わらないことはこの福祉というお仕事が大好きな事です。前の施設では18年間知的障害をお持ちの方が利用する入所施設におりました。今は相談支援専門員として、精神疾患、発達障害、身体障害、難病の方とも接するようになりました。改めて思ったことは支援の根本には変わりがないという事。利用者、相談者の皆様が少しでも幸せになるお手伝いをこれからはオジサンこれからも頑張ります。



大久保学園
小澤 秀仁

あつという間の20年。でも振り返るといろいろあった20年。未熟者が様々な迷惑をかけながら一緒に過ごした尊い日々。彼らの存在があつて、そして大久保学園があつて、時間を共にすることでしっかりとした生業に出来ている幸せ。大切な人達に出会えたのも彼らのおかげ。20年で何ができたのか、残りの20年で頂いたものをどれだけ恩返しできるだろうか。これを書きながらほろりと涙が出ました。



大久保学園
江澤 智子

20年前は……と首をかしげてしまうほど、遠くて思い出せない感もあり。しかし、あつという間でもあり。社会人として、大久保学園の職員として、その時にすべき事を、その瞬間、その瞬間に出来ていたかと自分自身を問いたすと自信はありませんが、常にやりがいや、自分の居場所を与えて頂いた事は、ひとえに周りの方々のおかげと感謝の念に堪えません。そして、これからも皆様の力をお借りして、挑戦しながら歩めればと思っております。



光風みどり園
能登 直美

こつこつと過ごしてきた20年です。こつこつと言うと、何だかつまらなく聞こえてしまうかもしれませんが、本当は山あり谷ありです。それでも「こつこつ」に変えてしまうのは、いつも励まし、共感してくれた人達のおかげです。笑顔で声を掛けてくれると笑顔でお返ししたくなります。毎日がその繰り返しですが、それが大切だと思えます。これからは元気をもらい、お返しできるように日々元気に頑張っていきたいです。



大久保学園
山田由紀子

新任であった頃を振り返ると……入所者の定員は108名と今より多かったです。ですが、グループホームは船橋金堀ホームの1か所。支援員数も少なく、準運という勤務自体がありませんでした。新任時代には考えもしない程に、大久保学園の規模(事業)は大きくなりました。大久保学園の成長と一緒に自分自身も成長出来ているのかと反省する部分があります。が、初心の「笑顔で接する」を忘れずにこれからも仕事に励みたいと思えます。



大久保学園
尾形千亜紀

学校を卒業して、初めて就職をしたのが大久保学園でした。社会人になり「早く仕事を覚えなければ」と毎日が必死でした。学園に入って数か月、利用者さんの対応等々が上手く出来ず、ひどく落ち込んでいたことがありました。そんな私の姿をみたある利用者さんが、近くにきて声を掛けてくれたのです。「どうしたの?なんで泣いているの?僕がウルトラマンになって助けてあげるから大丈夫だよ。」その言葉を聞き、辛い気持ちも嬉しさに変わりました。涙が止まらなくなった事を覚えています。あれから、もう20数年が経ちます。何かある毎に、あの言葉を思い出して、「大丈夫、大丈夫」と言い聞かせ、周りの方々に助けられ、ここまで続けられた気がします。長い間で、あつという間の20年。今日も、仕事に向かえる事に感謝をし、30年と続けていけたらと思っております。

いまできることを 楽しさにかえて

大久保学園



2度目の緊急事態宣言が解除されて、例年よりも早い春が訪れた3月23日。学園自慢の広い園庭にて大久保学園とふなばし工房合同でお花見会が実施されました。綺麗な桜を見ながら、喜んでもらえるお弁当を食べてもらいたい。170社の中から「これなら!」と思えるお弁当をみんなで選びました。包みをほぐし、2段のお弁当の蓋を開けていく利用者さん達の顔。「喜んでくれるかな?」ドキドキしながら見ていました。(松木)

ふなばし工房



毎の季節となり、ふなばし工房では苺収穫が始まりました。皆さん班を跨いでイベントのお仕事でも楽しそうに収穫されています。又、地域の方との交流の場にもなっており、苺収穫は大変貴重な時間です。ふなばし工房の活動にご理解頂き、ご協力頂いている苺農家さんには毎年感謝の気持ちでいっぱいです。(山本)

例年、春には園庭でお花見会を実施していましたが、今年は開花が早く、新緑を見ながら、班ごとに皆でお弁当を食べました。普段は食堂でパーティーションを使用して、静かに食事をしていますが、広い園庭で風を感じながら食べるお弁当は、いつも以上に美味しく感じられたのではないのでしょうか? これからも、今できる事、今しかできない事に、新しい発想で取り組んでいきたいと思えます。(瀬楽)



光風みどり園

新型コロナウイルス感染症がまだまだ落ち着かない環境下、引き続き緊張感を持ちながらの日々に加え、うっとおしい梅雨の時期が到来しました。そんな中でも、梨香園では、手洗い・消毒の徹底、日々の健康管理等の感染対策をしつかり行い、昼食外出や公園散策、園庭で行うスポーツイベント等を企画し楽しく、充実した日常生活を利用者の皆さんに届けていきます。(須藤)



梨香園

念願の自家発電機設置

大久保学園

永坂 剛毅

令和三年三月九日、大久保学園に設置された念願の自家発電機の試運転が行われました。昨年の十一月から着工され約半年間に渡る工期を経て竣工となりました。この自家発電機設置の構想自体は令和元年九月の台風15号が大きなきっかけとなりました。

千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15号により、法人内の袖ヶ浦市で事業を展開している代宿地域支援センターが停電によりライフラインが不通となりました。

九月という事もあり、まだ暑い中エアコンも使う事が出来ず、入浴をする事も出来ず、体調を壊されてしまう利用者さんもしらっしゃったそうです。その様な出来事があり、災害時に利用者さんの命を守る為には「電力」という物が如何に大事か再認識する事ができ、今回の自家発電機設置の運びとなりました。

自家発電機設置後の四月十三日午後五



発電機設置中 (クレーン)



発電機設置

時、船橋の金堀地区にて原因不明の停電が発生しました。「停電した」と認識した数秒後、自家発電機が作動し、十秒以内に南館へ電力が供給されました。幸い今回の停電はすぐに復旧し、今後も災害による自家発電機を活用する機会が無い事に越した事はありませんが、停電により利用者さんの生命を脅かされる事が無く、安心した変わらない生活を送れる事は利用者さん方もちろんですが、働く我々職員の安心感にも繋がると強く感じる事が出来ました。

近い将来に発生すると言われる首都直下型地震、台風被害、そう言った自然災害に対し、今までの災害用備蓄に加え、今回の自家発電機を活かし、法人として常日頃から予期せぬ事態に備えていきたいと思えます。

新任職員挨拶



みどり園

鈴木 莉奈

4月より配属となりました鈴木莉奈です。みどり園は学生時代に実習をさせていただいたご縁があります。未熟ではありますが、利用者さんに寄り添える支援員を目指します。ご指導、ご鞭撻のほど、宜しくお願ひ致します。



代宿地域支援センター

荻原 かな

この4月より代宿地域支援センターに配属された、荻原です。怒涛のように過ぎる毎日、先輩職員や利用者の方々にはご迷惑ばかりかかっていますが、利用者さんが一日の間で一笑できるように支援していきたいと思ひます。よろしくお願ひします。



大久保学園

穂満 優大

4月より大久保学園に配属されました。穂満優大と申します。まだまだ未熟で、先輩職員や利用者さんにご迷惑をお掛けしてしまふ毎日です。一日でも早く仕事を覚え、皆さんのお力になれます様、精一杯、努力をしていきたいと思ひております。宜しくお願ひ致します。

お楽しみ会

毎年恒例の2年目職員主催で行うお楽しみ会を5月3日に開催致しました。

今年はおリンピックイヤーという事でテーマを「大久保オリンピック」と題しました。

レクの内容も五輪マークを的にしたフライングディスク、キックターゲット。フォトスポットには表彰台、聖火台、重量挙げといった撮影ポイントを作成し、創作活動では全利用者に参加して五輪マークの作成を行いました。

また、コロナ禍において外出の制限もある中で利用者の記憶に残るお楽しみ会を実施したいと考え、2年目職員によるヒーローショーを行いました。利用者の様々な表情を見ることができ、楽しんで貰えた企画となりました。(三好)



新しい形で

今年の法人全体会議はWEB会議システムを利用してのオンライン会議を取り入れました。

各施設に居ながら会議に参加出来たので、画面越しに新しく迎える新任職員の顔や声を聞く事が出来、迎え入れる私達も年度の切り替わりを実感し気持ちを引き締める機会にする事が出来ました。新任職員も各施設の様子を画面越しに見る事が出来て、自分たちの働く法人を見る事が出来て安心したのではないのでしょうか。

今までは当たり前だった事を当たり前に行う事の難しさを感じました。(神谷)



はばたき

二〇二二 九四号

発行/令和三年六月
 発行所/社会福祉法人 大久保学園
 TEL 〇四七(四五七)二四六二
 FAX 〇四七(四五七)四〇六九
 URL <http://www.okubogakuen.or.jp>
 Mail shienka@okubogakuen.or.jp
 編集/大久保学園 広報委員会
 表題書/中原 強

令和2年度 決算報告概要

【貸借対照表】

令和2年3月31日 現在

科目	資産の部		負債の部	
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末
流動資産	1,421,916,451	流動負債	245,253,627	
現金預金	814,228,856	事業未払金	88,515,123	
事業未収金	489,268,922	その他の未払金	159,500	
未収金	4,578,179	1年以内返済予定遊備資金借入金	58,553,804	
未収補助金	108,616,927	職員預り金	5,293,200	
貯蔵品	728,073	前受金	231,000	
商品・製品	314,890	貸付引当金	92,511,000	
什掛品	298,000	固定負債	814,041,232	
原材料	511,650	遊備資金借入金	687,061,252	
立替金	742,514	退職給付引当金	126,979,980	
前払金	2,258,440	負債の部合計	1,059,294,859	
仮払金	370,000	純資産の部		
固定資産	5,117,213,758	基本金	537,556,931	
基本財産	3,598,330,658	基本金	537,556,931	
土地(借入形)	852,254,044	国庫補助金等特別積立金	1,209,441,979	
建物(借入形)	2,746,076,614	国庫補助金等特別積立金	1,209,441,979	
その他の固定資産	1,518,883,100	その他の積立金	1,098,818,000	
土地	1,270,312	人件費積立金	275,200,000	
建物	72,382,355	修繕費積立金	127,300,000	
構築物	95,472,617	備品等購入積立金	111,820,000	
機械及び装置	17,641,175	施設整備積立金	500,428,000	
車輦運搬具	8,791,785	C/H土地・建物購入積立金	72,070,000	
器具及び備品	29,737,637	次期繰越活動増減差額	2,646,018,440	
権利	149,568	うち当期活動増減差額	227,054,260	
退職給付引当資産	126,979,980			
人件費積立資産	275,200,000			
修繕費積立資産	127,300,000			
備品等購入積立資産	111,820,000			
自動車リサイクル料金を	325,259			
施設整備積立資産	500,428,000			
C/H土地・建物購入積立資産	72,070,000			
事業積立資産(借入金担保積立資産)	16,011,562			
修繕積立資産(借入金担保積立資産)	61,087,500			
差入保証金	2,215,000			
資産の部合計	6,539,130,209	負債及び純資産の部合計	6,539,130,209	

【資金収支計算書】

令和2年4月1日～令和3年3月31日

勘定科目	決算	
	当年度	前年度
収入		
事業活動による収入	2,968,397,527	2,968,397,527
金融活動による収入	28,109,731	28,109,731
その他の収入	82,636,060	82,636,060
受取利息配当金収入	97,684	97,684
借入金利息補助金収入	3,338,000	3,338,000
雑収入	12,618,458	12,618,458
雑収入	2,786,586,126	2,786,586,126
収入合計	3,338,000	3,338,000
支出		
事業活動による支出	302,456,465	302,456,465
金融活動による支出	82,864,190	82,864,190
その他の支出	8,030,869	8,030,869
支払利息	28,109,731	28,109,731
返済金	2,677,419,530	2,677,419,530
支出合計	290,977,897	290,977,897
繰越前年度繰越資産	63,315,000	63,315,000
繰越前年度繰越負債	21,351,380	21,351,380
繰越前年度繰越純資産	84,666,380	84,666,380
繰越前年度繰越純資産	56,722,108	56,722,108
繰越前年度繰越純資産	60,849,900	60,849,900
繰越前年度繰越純資産	117,572,008	117,572,008
繰越前年度繰越純資産	▲32,905,628	▲32,905,628
繰越前年度繰越純資産	21,241,509	21,241,509
繰越前年度繰越純資産	0	0
繰越前年度繰越純資産	21,241,509	21,241,509
繰越前年度繰越純資産	177,044,625	177,044,625
繰越前年度繰越純資産	▲155,803,116	▲155,803,116
繰越前年度繰越純資産	0	0
繰越前年度繰越純資産	102,269,152	102,269,152
繰越前年度繰越純資産	1,224,333,935	1,224,333,935
繰越前年度繰越純資産	1,326,603,088	1,326,603,088

【事業活動計算書】

令和2年4月1日～令和3年3月31日

勘定科目	当年度	
	当年度	前年度
収入		
事業活動による収入	2,968,397,527	2,968,397,527
金融活動による収入	28,109,731	28,109,731
その他の収入	82,636,060	82,636,060
受取利息配当金収入	97,684	97,684
借入金利息補助金収入	3,338,000	3,338,000
雑収入	12,618,458	12,618,458
雑収入	2,786,586,126	2,786,586,126
収入合計	3,338,000	3,338,000
支出		
事業活動による支出	302,456,465	302,456,465
金融活動による支出	82,864,190	82,864,190
その他の支出	8,030,869	8,030,869
支払利息	28,109,731	28,109,731
返済金	2,677,419,530	2,677,419,530
支出合計	290,977,897	290,977,897
繰越前年度繰越資産	63,315,000	63,315,000
繰越前年度繰越負債	21,351,380	21,351,380
繰越前年度繰越純資産	84,666,380	84,666,380
繰越前年度繰越純資産	56,722,108	56,722,108
繰越前年度繰越純資産	60,849,900	60,849,900
繰越前年度繰越純資産	117,572,008	117,572,008
繰越前年度繰越純資産	▲32,905,628	▲32,905,628
繰越前年度繰越純資産	21,241,509	21,241,509
繰越前年度繰越純資産	0	0
繰越前年度繰越純資産	21,241,509	21,241,509
繰越前年度繰越純資産	177,044,625	177,044,625
繰越前年度繰越純資産	▲155,803,116	▲155,803,116
繰越前年度繰越純資産	0	0
繰越前年度繰越純資産	102,269,152	102,269,152
繰越前年度繰越純資産	1,224,333,935	1,224,333,935
繰越前年度繰越純資産	1,326,603,088	1,326,603,088